

科目名	理容技術理論①	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間数/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の理容技術は技術の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは理容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	序章 理容技術理論を学ぶにあたって	理容理論と理容技術について				
3～4	1章 理容技術の基礎	理容技術における作業姿勢 理容技術に必要な人体各部の名称				
5～6	2章 理容用具	理容と用具 理容用具と衛生 理容刃物				
7～8		シザース・レーザー・クリッパー・コームの種類 扱い方				
		ブラシ・ヘアアイロン・ヘアドライヤーその他の理容用具				
9～10	まとめ					
11～12	3章 ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザインデザインの要素ヘアデザイン				
13～14	4章 ヘアカット	ヘアカットを学ぶにあたって 観測法 基本原則 一般的手段				
15～16		スタンダードヘアの概要 用具の持ち方と操作				
17～18		スタンダードヘアのカット技法				
19～20		スタンダードヘアのスタイル別カットシステム				
		デザインヘア スタイル別カットシステム				
21～22	まとめ	デザインヘアカット・レディースカットの一例				
23～24	5章 ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類				
		ヘアセッティングの実際 レディースのヘアスタイリング				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	理容技術理論②	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間数/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の理容技術は技術の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは理容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	6章 パーマネントセット	パーマネントウェービング				
3～4		ワインディング				
		コールド二浴式パーマネントウェーブの一例				
5～6		アイアニング				
7～8		形状記憶デジタルパーマ				
9～10	まとめ					
11～12	7章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 カラーリングの効用				
13～14		染毛剤の種類と原理				
		染毛剤の安全性と取扱上の注意				
15～16	ヘアカラーリング技術のプロセス 一例 その他の技法					
17～18	まとめ					
19～20	8章 シェービング	シェービングを学ぶにあたって 要件				
21～22		シェービングの種類 基本技術と要領				
		シェービングのプロセス メンズフェイスシェービング				
23～24		メンズネックシェービング				
		メンズのフェイスデザイン				
25～26	レディースシェービング					
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	理容技術理論③	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間数/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の理容技術は技術の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは理容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	9章 理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって スキンケア				
3～4		フェイシャルケア				
5～8		ハンドケア フットケア 理容アロマセラピー				
9～12	まとめ					
13～14	10章 理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって カウンセリング				
15～16		トリートメント ヘアケアとスカルプケア				
17～18		毛髪の基礎知識 ヘアチェック				
19～20		頭皮の基礎知識 スカルプチェック				
21～24	まとめ	ヘアクリニックの用具 ウィッグ				
25～26	11章	シャンプーイング シャンプーイングの方法				
27～28	シャンプーイング&リンシング	シャンプーイングの技法 リンシング				
29～32	まとめ					
33～34	12章 理容マッサージ	マッサージの意義と効果 マニピュレーション				
35～36		ヘッドマッサージ・クリニックマッサージの一例				
37～40	まとめ					
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	理容技術理論④	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間数/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の理容技術は技術の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは理容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～4	1 3 章 ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって 種類 ヘアトリートメントの一例				
5～8	1 4 章 スカルプトリートメント	スカルプトリートメントを学ぶにあたって 種類 ベーシックスカルプトリートメントの一例				
9～12	1・2 章復習	国家試験対策				
13～16	3・4 章復習	国家試験対策				
17～20	5・6 章復習	国家試験対策				
21～24	7・8 章復習	国家試験対策				
25～26	9・1 0 章復習	国家試験対策				
27～28	1 1・1 2 章復習	国家試験対策				
29～30	1 3・1 4 章復習	国家試験対策				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	理容実習Ⅰ	科目区分	必修	授業形態	実習		
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間/単位数	690時間	23単位	
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。						
授業概要	理容に関する基礎的理論と知識を学び、実習をとおして基本技術を効率的に習得する。前期には、ミディアムカットを中心にワインディングを学ぶ。後期には、カット技術に加え、シェービング技術を学ぶ。ミディアムカット・シェービングは理容師国家試験課題に含まれる。						
授業計画							
回	項目	内容					
1～2	理容技術理論を学ぶにあたって	理容技術の教育カリキュラムの説明および諸注意					
3～4		理容における頭部の区分と名称					
5～6	理容用具	理容用具の確認と名称					
7～8		理容用具の取り扱い方					
9～12	ヘアカッティング	基本姿勢とカット用具の持ち方と操作					
13～16		シザーの開閉練習					
17～20		すくい刈の運行と実践					
21～24		連続刈の運行と実践					
25～28		押し刈の運行と実践					
29～32		まわし刈・襟袷の運行と実践					
33～36		クリッパーの運行と実践					
37～40		ぼかしの運行と実践					
41～44		ミディアムカット	ミディアムカットの概要と技術展示				
45～48			後頭部の刈り上げ（クリッパーワークと荒刈）				
49～52			サイドの刈り上げとネックラインの処理				
53～56	クリッパーラインの処理とぼかし						
57～60	ミディアムカット	ウィッグによる刈り上げ実践（荒刈～ぼかし）					
61～64		指間刈の運行と実践					
65～68		天頂部の指間刈					
69～72		仕上げ刈（接合部の処理とぼかし）					
73～76		通しカット35分					
77～80		通しカット30分					
81～84		通しカット25分					
85～88		通しカット20分					
89～92		通しカット20分					
93～96		通しカット20分					
97～100		通しカット20分					
101～104		通しカット20分					
105～108		通しカット20分					
109～112		セニングカットの運行と実践					
112～116		天頂部のセニングカット					
117～120		ブラシ・コームの運行・整髪料のつけ方と実践					
121～124	期末試験ミディアムカット・セット35分						
125～128	期末試験作品修正と復習						
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験				

科目名	理容実習Ⅱ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間/単位数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。					
授業概要	理容に関する基礎的理論と知識を学び、実習をとおして基本技術を効率的に習得する。前期には、ミディアムカットを中心にワインディング・ヘアセッティングを学ぶ。後期には、カッティング技術に加え、シェーピング技術を学ぶ。ミディアムカット・シェーピングは理容師国家試験課題に含まれる。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	ワインディング	ワインディング概要と技術展示				
3～4		ブロッキングのしかた・スライスの取り方				
5～6		ロッドの巻き方（上巻き）				
7～8	ミディアムヘア	ロッドの巻き方（下巻き）				
9～12		クリッパー・荒刈15分				
13～16		ほかし10分				
17～20	ワインディング	改造ロッドづくり				
21～24		クリッパー・荒刈15分				
25～28	ミディアムヘア	ほかし10分				
29～32		センターの巻き方 展示と実践				
33～36	ワインディング	ミディアムカット25分				
37～40		バックサイド・サイド左側の巻き方 展示と実践				
41～44	ミディアムヘア	ミディアムカット23分				
45～48		バックサイド・サイド右側の巻き方 展示と実践				
49～52	ミディアムヘア	ミディアムカット22分				
53～56		全頭 40分				
57～60	ワインディング	ミディアムカット20分				
61～64		全頭 38分				
65～68	ミディアムヘア	ミディアムカット20分				
69～72		全頭 35分				
73～76	ワインディング	ミディアムカット20分				
77～80		全頭 32分				
81～84	ミディアムヘア	ミディアムカット20分				
85～88		全頭 30分				
89～92	ワインディング	ミディアムカット20分				
93～96		全頭 30分				
97～100	ミディアムヘア	ミディアムカット20分				
101～104		全頭 30分				
105～108	ワインディング	ミディアムカット20分				
109～112		全頭 30分				
113～116	ミディアムヘア	ミディアムカット20分				
117～120		全頭 30分				
121～124	ワインディング	全頭 30分				
125～128		半期末試験(全頭30分)				
129～132	デザインカット	期末試験作品修正と復習				
133～136		クラシカルバックの概要と技術展示				
137～140	デザインカット	クラシカルバックのプレカットの展示と実践				
141～144		整髪（分髪・基本セット）実践				
145～148	ミディアムヘア	クラシカルバックのセニングカットの展示と実践				
149～152		カットセット35分				
153～156	デザインカット	クラシカルバックのセット ブラシワークとドライヤーワーク				
157～160		全頭30分				
161～164	ミディアムヘア	カットセット35分				
165～168		クラシカルバックのセット 根起こし・荒かけ				
169～172	デザインカット	全頭30分				
173～176		カットセット35分				
177～180	ワインディング	クラシカルバックのセット チェックブラシによる面の作り方				
181～184		全頭30分				
185～188	ミディアムヘア	クラシカルバックのセット 仕上げ・ときつけとスタイリング剤の使い方				
189～192		全頭30分				
193～196	ヘアセッティング	クラシカルバックのセット 45分				
197～200		クラシカルバックのセット 35分				
201～204	ヘアセッティング	クラシカルバックのセット 30分				
205～208		全頭30分				
209～212	ミディアムヘア	期末試験クラシカルバック・セット30分				
213～216		期末試験作品修正と復習				
217～220	ヘアセッティング	全頭30分				
221～224		カットセット35分				
225～228	ワインディング	全頭30分				
229～232		カットセット35分				
233～236	ヘアセッティング	全頭30分				
237～240		カットセット35分				
241～244	ミディアムヘア	全頭30分				
245～248		カットセット35分				
249～252	ヘアセッティング	全頭30分				
253～258		カットセット35分				
259～262	ヘアセッティング	全頭30分				
263～268		カットセット35分				
269～272	ヘアセッティング	全頭30分				
273～276		カットセット35分				
277～280	ヘアセッティング	全頭30分				
281～284		カットセット35分				
285～288	ヘアセッティング	全頭30分				
289～292		カットセット35分				
293～294	ヘアセッティング	全頭30分				
到達目標		国家試験合格	評価方法	定期試験		

科目名	理容実習Ⅲ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間/単位数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。					
授業概要	理容に関する基礎的理論と知識を学び、実習をとおして基本技術を効率的に習得する。前期には、ミディアムカットを中心にワインディング・ヘアセッティングを学ぶ。後期には、カッティング技術に加え、シェービング技術を学ぶ。国家試験の課題ごとの復習を行う。ミディアムカット・シェービングは理容師国家試験課題に含まれる。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	シェービング	シェービングの概要と技術展示				
3～4		用具の持ち方と使い方				
5～6		ラザーリング 塗布のしかた 清拭				
7～8		レザーの運行と添手 展示と実践				
9～12		ネックシェービング運行手順 展示と実践				
13～16		フェイスシェービング運行手順 展示・実践				
17～20		顔面処置の手順 展示・実践				
21～24						
25～28		ウィッグによるシェービング 実践				
29～32						
33～36						
37～40		相モデルによるシェービング 実践				
41～44						
45～48		国家試験課題 ミディアムカット	ブレカット 展示・実践			
49～52	カッティング順序の説明（復習） 展示・実践					
53～56	セニングカットの説明(復習) 展示・実践					
57～60	ミディアムカット20分・セニング5分					
61～64	チェック・弱点修正					
65～68	ミディアムカット20分・セニング5分					
69～72	チェック・弱点修正					
73～76	ミディアムカット20分・セニング5分					
77～80	チェック・弱点修正					
81～84	シェービング順序の説明(復習) 展示・実践					
85～88	国家試験課題 シェービング	ネックシェービング 実践				
89～92		フェイスシェービング実践				
93～96		顔面処置 実践				
97～100		シェービング15分				
101～104		チェック・弱点修正				
105～108		シェービング15分				
109～112		チェック・弱点修正				
112～116	国家試験課題 整髪	整髪手順の説明(復習) 展示・実践				
117～120		整髪 実践				
121～124		整髪5分				
125～128		チェック・弱点修正				
129～132	国家試験課題	全課題チェック				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	理容実習Ⅳ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	小副川・山口（担当教員は理容室で理容師として実務経験あり）	時間/単位数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格を主眼に置きながら、課題を徹底的に反復練習する。技術ごとに定期的なレベルチェック（技術評価）を行い、科学的な分析により評価基準に適合した能力の指導を推進していく。					
授業概要	理容に関する基礎的理論と知識を学び、学習をとおして基本技術を効果的に習得する。国家試験 課題である、ミディアムカット・シェービング・整髪技術を確実なものにしていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分				
3～4						
5～6						
7～8	国家試験課題	シェービング15分				
9～12						
13～16	国家試験課題	シェービング15分				
17～20						
21～24	国家試験課題	整髪5分				
25～28	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分				
29～32						
33～36	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分				
37～40						
41～44	国家試験課題	シェービング15分				
45～48						
49～52	国家試験課題	シェービング15分				
53～56						
57～60	国家試験課題	整髪5分				
61～64	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分				
65～68						
69～72	国家試験課題	シェービング15分				
73～76						
77～80	国家試験課題	整髪5分				
81～84	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
85～88						
89～92	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
93～96						
97～100	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
101～104						
105～108	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
109～112						
112～116	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
117～120						
121～124	国家試験課題	ミディアムカット・セニング25分・シェービング15分・整髪5分				
125～128						
129～132	国家試験課題	国家試験課題の見直し				
133～136						
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	選択課目①(エステ・YUME)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年(修得者)	担当者	西村・小副川・糸山・山口(担当教員はエステサロン、理容室で理容師またはエステティシャンとして実務経験あり)	時間/単位数	210時間	7単位
教育目標	フェイシャルから、ボディケア、脱毛までエステティック全般を学び、理論に裏打ちされたより高度な技術や知識を身につけリーダーシップの取れる人材を育成する事を目標とする。また、YUMEシャンプー台を使用し、高い技術力を身に付け、お客様に癒しを提供できるヘッドスパを習得する					
授業概要	基礎をベースにプロフェッショナルとしてより高度な知識、技術をトータルに修得する					
授業計画						
回	項目	内容				
1~2	エステティック概論	エステティックの本質・歴史と現況				
3~4	フェイシャルエステティック	ハンドクレンジング				
5~6						
7~8	エステティック概論	エステティックに関する法律				
9~10	フェイシャルエステティック	ブラシクレンジング				
11~12	エステティック機器学	法律に関するエステティシャンの倫理 エステティック機器学と				
13~14		エステティック技術、エステティック機器の原理				
15~16	フェイシャルエステティック	ウッドランプ・スキンチェック				
17~18						
19~20	エステティック機器学	エステティック機器の種類と特徴				
21~22	フェイシャルエステティック	ディープクレンジング				
23~24						
25~26	エステティック機器学	エステティック機器を使用するための電気の基礎知識				
27~28	フェイシャルエステティック	サクション				
29~30						
31~32	エステティック機器学	いろいろなエステティック機器の特徴と使用法				
33~34	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ				
35~36						
37~38	エステティック技術	フェイシャルケアについて				

39～40	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ/YUMEシャンプーとは	
41～42	YUMEシャンプー		
43～44	エステティック技術/YUME	フェイシャルケアの流れ	
	Eシャンプー	/YUME(カウンセリングからアフターカウンセリングまで)	
45～46	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ/ヘッドスパ	
47～48	ク/YUMEシャンプー		
49～50	エステティック技術/YUMEシャ	フェイシャルケアの技術/ヘッドスパ	
	ンプー		
51～52	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ+デコルテ/ヘッドスパ	
53～54	ク/YUMEシャンプー		
55～56	エステティック技術/YUMEシャ	フェイシャルケアの技術/ヘッドスパ	
	ンプー		
57～58	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ+デコルテ+スチームタオル/頭や耳など	
59～60	ク/YUMEシャンプー		
61～62	エステティック技術/YUMEシャ	エステティックフェイシャル機器/つぼを覚えて技術に落とす	
	ンプー		
63～64	フェイシャルエステティック	パック/ヘッドスパ	
65～66	ク/YUMEシャンプー		
67～68	エステティック技術/YUMEシャ	エステティックフェイシャル機器/ヘッドスパ	
	ンプー		
69～70	フェイシャルエステティック	クライアントに合わせたプログラム作成①/ヘッドスパ	
71～72			
73～74		クライアントに合わせたプログラム作成②/ヘッドスパ	
75～76			
77～78		クライアントに合わせたプログラム作成③/ヘッドスパ	
79～80			
到達目標	エステティシャンとしてフェイシャルの基礎知識、技術、マナーを学び、フェイシャルケアの意味と目的を理解する。/サイド、リアシャンプーより、お客様に癒しを提供できるYUMEシャンプーを使用し、ヘッドスパの技術、知識を身に着ける	評価方法	期末試験

科目名	選択課目②(作品作り)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年(修得者)	担当者	西村・小副川・糸山・山口(担当教員はエステサロン、理容室で理容師またはエステティシャンとして実務経験あり)	時間/単位数	210時間	7単位
教育目標	これまでの技術を活かしながら、独自性を持った創作作品を作成していく。					
授業概要	基礎をベースに個性ある高度な技術により、独創性ある作品づくりをしていく中で、撮影時や大会での技術力を身につける。					
授業計画						
回	項目	内容				
1~2	作品作り	基礎基本による総合作品作り				
3~4						
5~6		独創性を持った作品のデッサン画を描く				
7~8						
9~10		デッサンがを基に作品づくり				
11~12						
13~14		デッサンがを基に作品づくり				
15~16						
17~18		デッサンがを基に作品づくり				
19~20						
21~22		カラーリング				
23~24						
25~26		カラーリング				
27~28						
29~30		レディースカット				
31~32						
33~34		レディースカット				
35~36						
37~38		創作作品づくり				
39~40		創作作品づくり				
到達目標	ウィッグに時間内に所定の本数が正しく装着できるようにする	評価方法	期末試験			

科目名	選択課目②(総合)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年(修得者)	担当者	西村・小副川・糸山・山口(担当教員はエステサロン、理容室で理容師またはエステティシャンとして実務経験あり)	時間数	210	7単位
教育目標	メンズカットの基本技術を習得し、パーマ、カラー等総合的な技術力を身に着ける。					
授業概要	カットを中心に技術を総合的に修得する					
授業計画						
回	項目	内容				
1～5	総合	クリッパーワーク				
6～10		クリッパーワーク				
11～15		クリッパーワーク				
16～20		クリッパーワーク				
21～25		クリッパーワーク				
26～30		クリッパーワーク				
31～35		クリッパーワーク(ぼかし)				
36～40		クリッパーワーク(ぼかし)				
41～45		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
46～50		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
51～55		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
56～60		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
61～65		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
66～70		基礎刈、指間刈、固定刈、連続刈				
71～75		セニングカット				
76～80		セニングカット				
81～85		セニングカット				
86～90		セニングカット				
到達目標	ウィッグに時間内に所定の本数が正しく装着できるようにする	評価方法	期末試験			